

記念講演会



渋澤 寿一 農学博士

1952年生まれ。国際協力事業団専門家としてパラグアイに赴任後、長崎オランダ村、ハウステンボスの役員として、企画経営に携わる。NPO法人共存の森ネットワーク理事長。全国の高校生100人が「森や海・川の名人」をたずねる「聞き書き甲子園」の事業や、各地で開催する「なりわい塾」など、森林文化の教育、啓発を通じて、人材の育成や地域作りを手がける。岡山県真庭市では木質バイオマスを利用した地域づくり「里山資本主義」の推進に努める。明治の実業家・渋澤栄一の曾孫。



佐伯 知広 林野庁 中部森林管理局長

1968年生まれ。三重大学農学部林学科卒。1991年林野庁採用。1992年長野営林局松本営林署姫川治山事業所主任、2000年南信森林管理署飯田事務所長等を経て、林野庁山地災害対策室長、林野庁治山課長を歴任。2017年九州北部豪雨災害や、2018年7月豪雨災害、北海道胆振東部地震など、相次ぐ激甚な山地災害の復旧対策に従事。災害の発生状況を踏まえた治山事業における流木対策や巨石を含む土石流対策の方針のとりまとめにも取り組んだ。その後、林野庁森林技術総合研修所長、(独)農林漁業信用基金総括理事を経て2025年10月より現職。

記念祝賀会



水野 千香 Chika Mizuno (メイン司会)

エステ業 美容と健康のプロで司会業も兼務

エステ歴20年。31歳のときに交通事故を起こし、肝臓破裂、九死に一生の経験から一度きりの人生、命の大切さを痛感。どう生きたいかを、人としてのあり方や命の大切さを伝えていく、人生のための仕事を自分らしさを発揮しながら活動。諦めない精神とパッションを持つエネリギッシュな女性リーダー



大島 嘉月代 Kazuyo Ooshima (サポート司会)

料理研究家。元 SFR(スローフードレストラン)「白鳥物語」オーナー

平成27年(2015年)に協会創立50周年記念行事として協会が取り組んだ中部森林管理局名古屋事務所「郷土の森」と「熱田白鳥の歴史館」看板整備(除幕式)や、その後数年間にわたる、JAFEE講習会等での懇親会等協会の行事に協力いただいた。



渡邊 万貴 Maki Watanabe (Soprano)

国立音楽大学 演奏学科声楽専修歌曲ソリストコースを修了。28回富山県青少年音楽コンクール 声楽部門優秀賞受賞。在学中に声楽学科を代表し国立音楽大学ソロ・室内楽定期演奏会に出演。東京二期会オペラ研修所にてマスタークラス修了。オペラでは富山舞台芸術祭オペレッタ「こうもり」アデーレ役でデビュー後、オペラ「カルメン」ミカエラ役で出演。現在は北陸を中心にコンサートやオペラの舞台、第九やレクイエムのソリストとして演奏している。東京二期会正会員。富山県オペラ協会芸術会員。とやま音楽文化協会会員。富山県立呉羽高等学校音楽コース 非常勤講師。



中川 歩美 Ayumi Nakagawa (Pianist)

国立音楽大学 鍵盤楽器ソリストコース修了。同大学大学院修士課程修了。ウィーンミュージックアカデミーにてマスタークラスを受講。第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会第4位、第33回富山県新人演奏会にて北日本新聞音楽奨励賞、第4回とやまクラシックピアノコンクール金賞及びグランプリ受賞。現在、富山県を拠点に、ソロ・室内楽・伴奏などの演奏活動。とやま音楽文化協会会員。(公財)日本ピアノ教育連盟北陸支部会員、富山県ピアノ指導者協会会員



内田 玲子 Reiko Uchida (Vocal)

父は元キングレコードの専属歌手。その影響もあり、幼い頃から歌謡曲を聴き、音楽になれ親しむ機会に恵まれた。2002年に開催された【大阪クラウンレコード歌謡大会】に出場し、優秀歌唱賞を獲得。吉幾三のバックバンドメンバーとの出会いをきっかけに東京での歌手活動を経て現在は三河方面を中心に主に昭和歌謡曲、その他ポップス、ジャズ、オールディーズなどを歌うシンガーとして活動している。



水野 久美子 Kumiko Mizuno (Jazz Pianist)

名古屋音楽大学ピアノ科修了。JAZZを独学で習得。ピアノを弾くテクニックと音楽の基本がしっかりしているので、表現力と歌心のある演奏で定評。ダイナミックで楽しい、情熱的な演奏と好評。JAZZライブハウスでの演奏の他、ホテル、レストランのラウンジ、シャンソン・カンツォーネなどの歌の伴奏、ブライダル、イベント、ラジオ、テレビなど多方面で活躍。今春、CD発売決定。演奏活動の他に、大人&子供のレッスン、譜面作成、音楽講座などの活動も行っている。東海を代表するピアニスト